

よろろ 議会だより



養老かるた

シリーズ

2020.8.1

149

号

(令和2年)

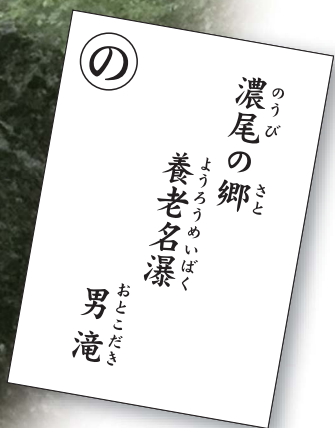
No.149

よろろ議会だより

2020.8.1

発行/2020年8月1日 養老町議会 〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798 TEL0584-325084(直通)

編集/議会だより編集特別委員会 印刷/盛福印刷



5月臨時会	2
6月定例会・本会議報告	3
常任委員会報告・委員会構成	4
こんなことが決まりました	5
町の考えを問う(6議員が一般質問)	6
あれから「五三川の釣り対策」は どうなったんやあ～	11
議会に対する意見(住民の声)	12
議会ニュース	12

5月
臨時会

6月
定例議会

ホームページ
<http://www.town.yoro.gifu.jp/>



議会QRコード

養老町みんなで『孝子』条例 表彰

第2回定例会(初日)において、平成29年に制定された「養老町みんなで『孝子』条例」の初めての表彰者として、田中政司氏が選ばれ、議長より賞状が手渡されました。おめでとうございます。田中氏は伝統芸能である尺八を続け、昨年度伝統文化継承者の1人として県知事表彰を受けました。また議場で、尺八の演奏を披露しました。



議会ニュース

おめでとうございます

5月3日、元養老町議員の青山貞一氏が、岐阜県表彰規定により各界功労者表彰を受けました。



一年間お疲れ様でした

第2回定例会(初日)において、長澤龍夫前議長のその功績に対し、議会より感謝状が贈呈されました。



議会に対する意見 ■住民の声■

シリーズ
33

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

養老町は字のとおり老人を養う町でありたいのですが、現実には少子高齢化により高齢者が若者を養わなくてはならない町になっています。この問題を解決する鍵は、これまでの老人やシルバーという呼び方は現在の人生百年時代には合いません。これからは高齢者やシニアと呼びたいものです。寝たきりの高齢者をなくし、元気なシニアであふれかえる町の政策こそがこれからの養老町の一つのあり方ではないでしょうか。

町内在住 E・Tさん
そのためには、医療や福祉の充実は元より、なによりもシニア層に対する運動やスポーツの啓発が必要です。なぜならシニア=高齢者のスポーツ活動は日々の生活満足度や生きがいと比例します。養老町ではスポーツ推進計画の元関係者が啓発活動を進めています。高齢者が多い議員や議会の皆さんも一緒になって考えてもらえませんか。

9月4日に定例会を開会予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

(詳しい日程については、「広報よろろ」9月号と町ホームページでお知らせします。一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴していただけます。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。)

委員長	野村 永一
副委員長	西脇 康
委員	松永 民夫
委員	吉田 太郎
委員	大橋 三男
委員	北倉 義博

議会だより編集
特別委員会

新型コロナウイルスの感染で世界が様変わりしています。今までの常識が常識でなくなり、これから大きな試練が待ち構えております。三密(密閉・密集・密接)から、二散(分散・拡散・逃散)へ。我々は何をすべきか、考え直す時期であります。議会だよりも委員が新しく選任され、少し見方を改めて取り組みますので、どうぞご期待いただけます。委員長

編集
後記

「わたしの声」を待っています。
役場ロビーに意見箱を設置してあります

「わたしの声」
の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812
メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp



5月臨時会

令和2年第1回臨時会が5月11日に開かれた。

1件の専決処分の報告を受け、8件の専決処分の承認について、全て承認した。条例改正等6件の議案について提案説明を受け審議し、全て原案の通り可決した。また固定資産評価員の選任についての人事案件に同意した。

議会休会中に長澤前議長の辞職届を受領し、吉田前副議長が議長となり、副議長に北倉議員が就任した。その後、各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の選任と正副委員長の選任をおこなった。

※ 各委員会構成は4P参照

臨時会の主な(総括)質疑内容

専決処分の承認について(令和元年度養老町立食肉事業センター補正予算)

問 大陸で流行っている豚熱の現状は。

答 アフリカ豚熱に關しては、ワクチンがまだ開発されていないため、国では水際戦略として、持ち込ませないことを徹底している。

問 特別定額給付金の対象者2万8399人の日本人と外国人の内訳は。

答 基準日である4月27日の住民基本台帳の人口は、日本人が2万7716人、外国人が633人であり、基準日翌日以降の登録者数等を50人見込んでいます。

令和2年度一般会計補正予算

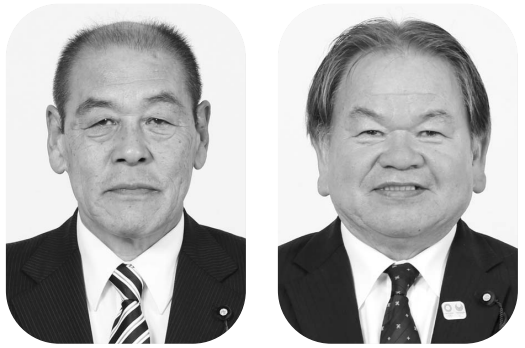
問 自然災害による避難所開設の際、コロナ感染を防ぐための体制づくりの見解は。

答 県のガイドライン(案)を参考にしつつ、当町の避難所運営マニュアルについても感染症対策の内容を盛り込んでいる。

問 庁舎管理のコロナ対策として、委託費62万円程の内容は。

答 庁舎の消毒作業として、保健所の指導内容にもよるが、廊下、階段、エレベーター及び事務室のワンフロアの半分相当を想定して概算で予算計上した。

新議長あいさつ



議長 吉田 太郎



副議長 北倉 義博

令和2年度の養老町議会議長に、また、西南濃町村議会議長の会長、県町村議会議長の副会長に就任させていただきました。この重責を肝に命じ、副議長とともに職務を誠意努力したいと思います。

今年は全世界で新型コロナウイルス感染が拡大し、感染予防のために、手洗い、換気、三密回避などの「新しい生活様式」の実践など色々な課題があります。

養老町の課題でもある、企業誘致、雇用促進や少子化対策など多くの課題があります。このような様々な諸問題に、行政と議会が一体となり、安心・安全で住みよい町づくりに寄与し、取り組んで参ります。皆様の温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

6月定例会

令和2年第2回定例会が6月5日から17日までの13日間の会期で開かれた。

初日(5日)は、令和元年度養老町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告及び専決処分を承認した。4議案の提案説明があり、令和2年度養老町一般会計補正予算は所管ごとに各常任委員会に付託した。条例の一部改正等3議案については総務民生委員会に、水道事業会計決算の認定については産業建設委員会に付託した。また、物件供給契約の締結について可決し、19名の農業委員会委員の任命について全て同意した。

2日目(16日)は、議員6名が一般質問を行った。

最終日(17日)は、総務民生委員長及び産業建設委員長より、付託された議案についての審査の経緯と結果の報告後、採決を行い、条例の一部改正や令和2年度一般会計補正予算など5議案について、すべて原案のとおり可決された。

定例会の主な(総括)質疑内容

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 家庭的保育事業者に該当する町内の施設は。

答 現在、養老町に該当する施設はない。

農業委員会委員の選任同意

問 平成28年4月1日より改正法が施行されているが、この3年間の総括は。

答 現行の農業委員会において、議案審議や農地パトロールなどの地域活動においても支障があったという報告は受けておらず、総合的に問題は無かったと評価をしている。

問 今回の選任同意のうち、認定農業者数と平均年齢は。

答 認定農業者やそれに準ずる団体の役員は10人で、平均年齢は61・5歳。

物件供給契約の締結(常備消防関係車両等購入事業(資機材搬送車))

問 平成3年より使用している現車両の車検日と走行距離は。納入期限を令和3年2月26日に設定した理由は。

答 車検日は令和3年10月、走行距離は2万6206km。納入期限は、コロナの影響で各部品の納期が延びているのを踏まえて最大限の納期とした。

問 仕様書の記載内容。

答 消防用車両トラックとして、パワーゲート等を設置した特殊車両となっている。

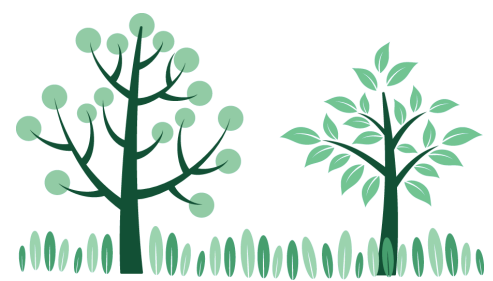
令和2年度一般会計補正予算

問 GIGAS্কール構想の財源内訳は。

答 児童・生徒用のタブレット購入費の財源については、国が1台あたり4万5000円の定額を示しているため、それを上回る部分については町の一般財源で対応する。また、学校ネットワーク環境の整備委託金と地方債、一般財源となっている。

問 高齢者施設での新型コロナウイルス感染症対策について、町長の考えは。

答 各介護施設、医療機関には、衛生面においての各資機材をしっかりと届けられるようにはしていきたい。介護施設に対する調査では、約半数がタブレット等による面接の実施を考えているとの回答があり、こういった意見をしっかりと受け止めながら、皆様と協働のまちづくりを進めていきたい。



総務民生委員会へ付託された議案

手数料条例の一部改正

問 5月25日に個人番号通知カードが廃止されたことに関する、町民への周知方法は。

答 既に窓口では対応しているが、今定例会で議決されれば、ホームページ等にも掲載する予定である。

台。1台当たりの購入費は、国の基本額4万5000円に、発表ツールやセキュリティ、フィルタリングなどを追加して6万5000円を見込んでいる。

問 小・中学校情報化推進事業を急いで補正予算で対応しなければならぬ理由は。

答 4月7日付けの文部科学省の通知により、GIGAスクール構想を前倒しして実施するため、今年度中に一人一台端末を準備するよう通知があったため。

問 学校給食費の補償の内容は。

答 休校のため牛乳とパン、米、麺、その他キャンセルできなかった食材費を補償。

産業建設委員会へ付託された議案

令和元年度上水道事業会計決算の認定

問 有収率が2・5ポイント減った要因は。

答 高田地区を中心とした第一配水区域において、漏水が多発したため。

問 今後、さらなる借入れや水道料金を値上げする考えは。

答 現在企業債として17億円程あり、令和5年度までに西部簡易水道の統合事業の費用が10億円かかる見込みであることから、統合事業終了後に経営戦略を立て、料金を検討したい。なお、その際に配水管の布設替えや耐震化についての計画も検討したい。

令和2年度一般会計補正予算

問 元気な農業産地構造改革支援事業強い農業・担い手づくり総合支援事業、スマート農業技術導入支援事業の減額の要因は。

答 元気な農業産地構造改革支援事業については事業替えや自己都合による取り下げのため。強い農業・担い手づくり総合支援事業については事業替えや不採択のため。スマート農業技術導入支援事業についてはトラクターをドローンに変更したため。

委員会の要望

取り下げは、特に国庫の心象が悪くなるので、誓約書を取る等、対応するよう要望しました。

養老町議会 委員会構成名簿 (令和2年5月11日現在)

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務民生委員会	早崎 百合子	岩永 義仁	水谷 久美子 田中 敏弘 長澤 龍夫 小寺 光信 西脇 康
産業建設委員会	大橋 三男	清水 由美子	松永 民夫 野村 永一 吉田 太郎 北倉 義博
議会運営委員会	田中 敏弘	水谷 久美子	早崎 百合子 長澤 龍夫 岩永 義仁
議会改革特別委員会	水谷 久美子	田中 敏弘	早崎 百合子 岩永 義仁 小寺 光信 清水 由美子
議会だより編集特別委員会	野村 永一	西脇 康	松永 民夫 吉田 太郎 大橋 三男 北倉 義博

審議した議案とその結果

令和2年5月 臨時会

こんなことが決まりました

議案	結果
養老町国民健康保険税条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町国民健康保険条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町介護保険条例の一部改正	全員賛成で可決
予 算	
令和2年度養老町一般会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
令和2年度養老町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
そ の 他	
専決処分の報告(損害賠償の額の決定)	報告のみ
専決処分の承認(養老町税条例等の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町国民健康保険税条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町介護保険条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町消防団員等公務災害補償条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(令和元年度養老町立食肉事業センター特別会計の繰入の変更)	全員賛成で承認
専決処分の承認(令和元年度養老町一般会計補正予算(第5号))	全員賛成で承認
専決処分の承認(令和元年度養老町立食肉事業センター特別会計補正予算(第2号))	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町税条例の一部改正)	全員賛成で承認
人 事 同 意	
固定資産評価員の選任同意 藤田 勝彦	全員賛成で同意

審議した議案とその結果

令和2年6月 定例会

こんなことが決まりました

議案	結果
養老町手数料条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
予 算	
令和2年度養老町一般会計補正予算(第3号)	全員賛成で可決
そ の 他	
令和元年度養老町一般会計繰越明許費繰越計算書	報告のみ
専決処分の承認(令和2年度養老町一般会計補正予算(第2号))	全員賛成で可決
物件供給契約の締結(常備消防関係車両等購入事業(資機材搬送車))	全員賛成で可決
令和元年度養老町上水道事業会計決算の認定	全員賛成で認定
人 事 同 意	
養老町農業委員会委員の任命同意	同意
中村 辰夫、上田 均、鈴木 定男、安部 雅三、陸田 邦彦、栗田 敏、藤田 靖夫、問山 博之、岡田 睦夫、植田 和男、松永 昭人、西脇 康、小野 和孝、高橋 敏央、川瀬 比智、大橋 誠、木村 五貴、木村 政義、田中 清美	



◆水谷久美子 議員

コロナ禍での教育行政対応は

教育長 様々な角度から検討したい

学校教育・生涯学習施策などを含めコロナ禍での町の新しい対応や対策が望まれている。

問 今年の「家族の絆 愛の詩」の事業継続を。

答 募集期間を9月8日までとし、全国に発信する。

問 国の地方創生臨時交付金「図書館パワーアップ事業」を活用し、図書館機能の充実を求める。

答 今後、在宅での読書時間の増加が見込まれ、交付金活用も重要と考えている。今年度に限り、貸出冊数や貸出期間を検討したい。

問 大学生などの5人に1人が「財政苦から退学を考えている」との報道が後を絶たない。町内在住の奨学金受給者へ「奨学金利用者支援事業の創設」を求める。



図書館もコロナ対策

答 将来の養老町を担う観点から検討したい。

問 小・中学校の夏季・冬季休業決定プロセスは。

答 西濃地区教育長会で協議し、町校長会やPTAの意見を踏まえ、夏季休業を8月1日から8月16日まで、冬季休業を12月26日から1月5日までとした。

中小業者の影響調査実施を

町長 復興・対策での情報収集行う

暮らしや営業を守るため、これから更に行政の支援が求められる。営業再開の今こそ、実態を調査・把握し、業者の不安に寄り添うべきである。

問 県の「拡大防止協力金」の実績は。

答 6月4日時点で申請件数は150件と聞いている。

問 国の「持続化給付金」の申請期限は、来年1月5日である。支援から外れる業者が1人もいないよう、町の援助が求められるが。

答 申請が困難な方は、ソフトピアジャパンや町商工会がサポートしている。町は、休業要請後に各事業所を訪問した際に、相談内容に応じ、必要な支援策を案内している。



県の拡大防止協力金を丁寧に説明

問 今後、影響調査を分析する中で、新たな課題や支援策・支援金も求められるが見解は。

ほかに「改良住宅譲渡 施策進捗状況について」の質問もしました。

働き方改革の一環として、公務員の仕事の効率を上げる適切な休暇の取得が、時代の要請となり、また、町役場は安心安全の最後の砦である。

問 感染症について、どのような体制で臨まれるか。

答 職員感染蔓延時の対応は、新型コロナウイルス感染症予防・対応マニュアルを作成。迅速かつ適切な対応を心掛ける。

問 災害対策・対応には、事前の構えと関係者が内容をどれだけ熟知しているかが必要であるが。

答 防災行政無線のデジタル化整備・防災備蓄倉庫の備蓄品の点検及び更新を随時実施。有事に備えて、新型コロナウイルス感染症対策も講じ、防災対策を強化する。



◆早崎百合子 議員

新型コロナウイルス感染対策は

町長 新しい生活様式を実践

全国緊急事態宣言が解除され、第2波、第3波の感染拡大にどう備えていくのか。感染制御が困難な状況に陥っている

問 一律10万円の特 別定額給付金の現 状は。

答 約97%が申請済 み。未申請者には、広報やH・Pなどで申請 を促していく。

問 生涯学習講座、 サークルの開催は。

答 10月以降の開講 を目指し、9月末 までに再度再開の可否を 判断する。

問 小中学校の休校 措置と学校再開は。

答 ワーク シートの活用、学んだ経 験を活かしつつ、 学校での学びと 家庭学習とのつ ながりを一層強 化し、学力の定 着に努める。



特定定額給付金チラシ

職員の執務体制は

町長 時差出勤・在宅勤務を実施



コロナ感染対策避難所設営訓練



◆松永 民夫 議員

介護保険と高齢者福祉は

町長 社会福祉協議会と連携を強化

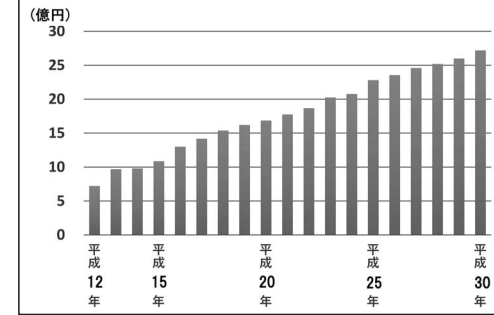
介護保険制度が創設されて20年が経過した。家族、特に女性が担うものとされてきた介護を社会化した意義は大きなものがあった。

問 滞納状況及び滞納者への介護保険の利用は、また高齢の独居者への支援体制は。

答 介護保険料のうち約10%が普通徴収。滞納者へは臨戸徴収を実施予定。滞納者のうち介護サービス利用者は14名で分納誓約をしている。独居高齢者へは町内の12の事業者と協定を締結し健康福祉課・地域包括センターと連絡体制をとっている。また、緊急通報システムを180機ほど貸し出し、支援している。

問 2021年度の制度改正に伴い、介護予防・認知症ケア及び「通いの場」への施策対応は。

答 「いきいきふれあいサロン」では保健師等が出向き介護予



養老町介護保険事業費の推移

※年金が年額18万円未満の方が口座振替または納付書により金融機関に収めるものを普通徴収という。また、年金が年額18万円以上の方は、2ヶ月おきに支払われる年金から支払いごとに2ヶ月分の保険料が天引きされるものを特別徴収という。



◆岩永 義仁 議員

旧養老女子商業の跡地問題は

町長 今後は県で検討するよう通知

統廃合により閉校となつてから15年が経過している。県内の県立高校廃校跡で利活用されていないのは養老女子商業跡だけである。

問 「養老女子商業高等学校」跡地の取り扱いについて、今後の町の方針は

答 これまで町の関係者で構成する委員会、利活用について検討してきたが、有効な活用方法は見出せなかった。今後は県で検討してもらつたよう、岐阜県教育長宛に通知を出した。

問 利活用促進のため、町をあげての県への積極的な働きかけを提案する。

答 岐阜県総務部管財課において「未利用財産の活用ニーズ調査」が実施され、県で活用方法が検討されている。随時、県と情報共有を図りながら見守っていききたい。



放置状態となっている高校跡

問 高校跡の処遇について町長の見解は。

答 全施設を利用するということ条件が厳しかった。利活用については今後も県と共に考えていきたい。良いアイデアがあれば県へ申し添えをする。

コロナ禍での大会・行事は

教育長 本年12月末まで自粛要請

4月16日に全都道府県に緊急事態宣言が発令され、各大会・行事の活動が制限された。5月25日に解除され各種活動も緩和された。

問 緊急事態宣言以来各種の大会・行事が自粛されてきたが5月25日に解除された。今後の町主催及び各地区の大会・行事への対応は。また公民館講座・サークル活動の再開は。

答 町主催・各地区の大会・行事は本年12月末まで自粛を要請する。年明け後は、今後の感染状況を見ながら、決定していく。公民館の講座・サークル活動は感染状況や近隣市町の動向を踏まえ10月以降の再開を目指し、9月末までに判断していく。



昨年開催の養老フェスタ

問 委託事業者及び各団体への委託事業費、補助金、助成金への対応は。

答 町民プールは3月1日から閉館していたが、6月2日より一部再開した。委託料は契約に基づき来年1月以降の委託料で精算する。各団体への補助金・助成金は、事業の実施の有無により年度末に精算し、返還を要請する場合がある。

コロナ禍での対応は (続)

町長 迅速かつ適切な対応に努める

国による緊急事態宣言が解除されたことに伴い、あらゆる社会活動が再開に向けて動き出している。新様式による検討が必要となる。

問 学校の夏休み明けが8月中旬となる。登下校での熱中症対策は。

答 下校時間を16時以降とする。水分補給の他、適宜マスクを外すよう指導する。さらに日差しを遮るため、傘をさしての登下校を検討している。

問 通学路沿いの住民に協力をお願いし、効果が高いとされる朝夕に「打ち水大作戦」を実施することを提案する。

答 コミュニティスクールの良さを活かし、子どもたちのために幅広く協力いただけるよう働きかけたい。

問 生涯学習講座等の公民館活動再開に向け、具体的な基準指標はあるか。



コロナ対策をしながら登校

答 感染症対策のため3密を避けることと十分な資機材の整備が必要。また、マスクや体温計等の衛生用品を、住民自らの備えとして準備するようお願いしたい。

問 災害時避難所の運営方法は。

答 感染リスクの低い団体活動や研修会等での再開を目指している。マニュアルも作成している。



◆清水由美子 議員

教科書決定の過程を問う

教育長 西濃地区採択協議会にて協議

来年度より変わる中学教科書。自虐記述が強まる傾向の中、伝統と文化を尊重し、日本の歴史に誇りをもてる教科書選択を望む。

問 教科書内容は、出版社により、記述内容が同じではない。教科書検定に合格した歴史教科書の中に、自虐色の強い物がある。教科書は、どのような経過で選ばれるのか。

答 5月の養老町教育委員会にて西濃地区採択協議会の設置に同意し、町内中学校より研究員を派遣して調査・研究にあたる。その後、協議会の協議結果を養老町教育委員会でも協議し、同意するかどうか決定する。

問 自国の歴史や文化への愛情を深める事ができる様な教科書選びが必要と思われるが、採択される教科書は適切か。

答 教科書の選択結果と理由については、西濃地区採択協議会が、規定に従い公表する。調査・研究・協議の内容は、9月1日以降に公表される。



中学校の歴史の教科書

生徒の現状と今後の対策は

教育長 継続的にきめ細やかな支援を

長期自粛生活で、子供達の日常が激変した。学校再開で、不安や悩み、ストレスなどの早期発見と対策で、穏やかな学校生活の支援を。

問 新型コロナウイルススでの休校・自粛生活中、子供たちの体力・スマホ依存対策は。

答 体力面の支援は、家庭学習課題の中に「自宅でする運動」を位置づけ取組んだ。取り組み表は、毎日の「生活振り返り表」に記入するよう指導した。家庭でする運動も配信。
スマホ依存等対策も、同表の活用と週に1度の家庭連絡で聞き取り、保護者と連携して改善へ。

問 「心のアンケート」の実施結果の把握と対策は。

答 感染が心配で、学校再開後も欠席者が小・中学生合わせて3人いたが、丁寧に説明。2人は通常登校。1人は放課後登校をしている。今現在は、ストレスや不安を訴える生徒は少なく、落ち着いて生活している。一斉授業が始まる6月15日以降、2回目の「心のアンケート」を実施し、きめ細かな支援を継続的に実施する予定。



中学生の下校の様子

ほかに「ゴミ収集日について」の質問もしました。



◆西脇 康 議員

学校給食の課題と今後は

教育長 研究・調査し検討する

現在、養老町では、小学校1人当たり年間4万9500円、中学校5万8300円を保護者が負担している。

問 給食費の無償化は。

答 財政負担は大きく、年間1億1千万円を超える経費がかかり、無償化は難しい。就学援助制度などで保護者を支援している。

問 給食時の感染対策として、「手洗いの徹底」、「会話を控える」、「間隔を開ける」など対応されているが、段階的な緩和策は。

答 給食は、感染リスクが高いことを受け、常に「安全・安心な給食」を目指し、配膳を工夫し、随時改善していく。

問 調理施設の老朽化、調理師の担い手不足、食材のロスなど問題解決に施設合理化、統合は。

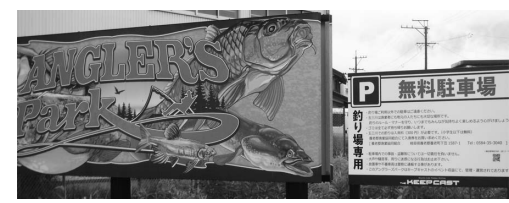
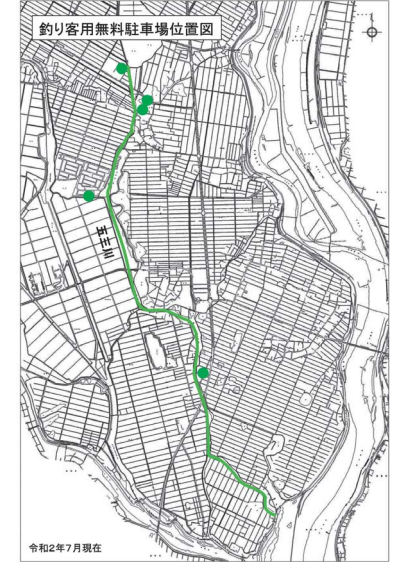
答 築年数は平均35年。施設維持管理には苦慮している。今後、小規模な改修で、長寿命化を図るか、将来的な学校統合や給食施設の集約を図るなど、調査を進め検討していく。



町内小学校の給食室

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 95

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和元年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。



「五三川の釣り対策は」

こうなりました

迷惑駐車対策として、町では交差点部等の危険箇所にポストコーンを設置し、物理的に駐車できないような対策を講じました。養老郡漁業協同組合では、釣り客用の駐車場を下笠・大場・大巻地内に合計5箇所設置したほか、監視員により違法駐車車両に注意喚起等を行っています。また、養老警察署では、迷惑駐車や不審者等のパトロール強化をしております。

釣り客によるゴミ対策としては、民間の団体主催による河川清掃活動が継続的に実施されているほか、町の環境パトロール事業として不法投棄の巡回監視を継続して実施しています。
今後も新たな対策等が必要な場合は、地域、漁業協同組合、警察、行政が連携して対応してまいります。